



平成28年8月9日
四国地方整備局

四国地方整備局入札監視委員会第一部会の 審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会の平成28年度総会及び第一部会(第1回定例会議)を下記のとおり開催しました。

総会では委員長の選任と委員長代理の指名及び各委員の部会所属の指名が行われました。(別添名簿のとおり) その後、第一部会の定例会議が開催されました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係は除く)が平成28年1月から平成28年3月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

記

開催日 平成28年7月8日(金)
場 所 高松サンポート合同庁舎

問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 山下 安一 (内線2114)
契約管理官 山田 久男 (内線2222)
技術開発調整官 石田 和敏 (内線3120)

別添

四国地方整備局入札監視委員会名簿

委員会役職	氏名	職業	所属部会
委員長 第一部会長	やま なか ひで お 山 中 英 生	徳島大学大学院教授	第一部会
委員長代理 第二部会長	すえ なが よし ひろ 末 永 慶 寛	香川大学教授	第二部会
委員 第二部会長代理	くに むら みの 國 村 年	公認会計士・税理士	第二部会
委員	いし かわ ち あき 石 川 千 晶	公認会計士	第一部会
委員	かご いけ のぶ ひろ 籠 池 信 宏	弁護士	第一部会
委員	ご そう たか し 五 艘 隆 志	高知工科大学准教授	第一部会
委員	しば た じゆん こ 柴 田 潤 子	香川大学大学院教授	第一部会
委員	とみ いえ さ や か 富 家 佐 也 加	弁護士	第二部会

(委員は50音順:敬称略)

(注)第一部会は、港湾空港関係を除くものについて審議する。

第二部会は、港湾空港関係に係るものについて審議する。

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第1回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成28年7月8日(金) 高松サンポート合同庁舎 13階会議室					
委員(部会委員4名)	部長 山中 英生(徳島大学大学院教授) 委員 石川 千晶(公認会計士) 委員 籠池 信宏(弁護士) 委員 柴田 潤子(香川大学大学院教授)	敬称略 委員は50音順				
審議対象期間	平成28年1月1日～平成28年3月31日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工 事	一般競争(政府調達協定適用対象工事)	平成27-29年度 高知県警察機動隊建築工事	清水建設(株)	592,920	2	91.21
	一般競争(政府調達協定適用対象工事)	平成27-31年度 新猪ノ鼻トンネル工事	佐藤工業(株)	4,118,040	12	89.10
	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成27-28年度 南大王川怒田八畝地区集水井外工事	高大建設(株)	192,240	1	98.61
建設コンサルタント業務等	簡易公募型競争	平成27-28年度 窪川佐賀道路(荷稻地区)用地調査等業務	(株)昭和コンサルタント	25,164	10	85.76
	簡易公募型プロポーザル	平成27-28年度 新日下川放水路詳細設計業務	いであ(株)	195,156	2	99.91
役務及び物品	一般競争	H28-31 国営讃岐まんのう公園運営維持管理業務	まんのう公園マネジメント共同体	1,755,000	1	93.77
報告事項	①談合情報等の対応状況 ②再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ③指名停止状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備考						

1. 抽出案件の審議概要

(1) 一般競争入札(政府調達協定以外)	
意見・質問	回 答
<p>平成27-29年度 高知県警察機動隊建築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎は同じ場所に建て替えるということだが、旧庁舎より大きくなっているのはなぜか。 ・当該場所は津波の心配は無いのか。 ・プールは技術的に難しいように思えるが、技術提案の評価項目の中にないのはなぜか。 ・低入札になった事業者について、共通仮設費等それぞれの項目の金額がクリアできているのであれば、最後の項目(工事価格)での判定は不要ではないのか。 ・技術提案を見ると、それほど難しい評価基準では無いと思われるが、2者にこれほど差がつくのは何か原因があるのか。 ・当該施設に剣道場はあるが、柔道等の施設が無いのはどうしてか。 <p>平成27-31年度 新猪ノ鼻トンネル工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の入札参加者が少ないケースが多いが、当工事は入札参加者が多い。トンネル案件は人気の工事なのか。 ・徳島県境までの工事となっているが、トンネル全体を半分に割って工事をする方が良いのではないか。 ・1次審査については、それほど難しそうな技術評価ではないので、技術者の配置評価が効いているのか。 	<p>旧庁舎は40年前の設計であり、必要な装備も増えているため、必要な面積を積みあげた結果、前の庁舎よりも大きなものとなっている。</p> <p>地元自治体の津波予想図を参考にしている。資料によると、この地区については海岸線より5km離れており、海水面よりも11メートルほど高くなっているため、津波の心配はない。</p> <p>プールは、コンクリート躯体の内側をFRPで処理をする等で確実な防水性が確保ができるため、特殊な施工ではないため。</p> <p>当該資料の個別項目の金額は特別重点調査に係る判定であるのに対し、工事価格欄については、調査基準価格に係る判定であり、当該入札者は調査基準価格以下の低入札であった。</p> <p>求められたテーマに対する理解度や、記載された提案が具体性に欠ける等で差が生じた。</p> <p>隣地に高知県の警察学校があり、他の武道はそちらで訓練できるようになっている。</p> <p>20者を超える案件は、四国ではなかなか無い。トンネルは技術提案的にも参加し易かったのかもしれないし、全国的に良いタイミングでの発注となったのではないか。</p> <p>当該場所は、県境で勾配が変わっている(拌み勾配)ため、湧水の関係もあり、県境までの工事となっている。</p> <p>同種類工事の施工経験が効いていると考えられる。</p>

<p>平成27－28年度 南大王川怒田八畝地区集水井外工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地域のこれまでの発注状況や参加状況はどうなっているのか。 ・最近獣が出るような箇所があるが、工事の単価が上がるような事は無いのか。 ・今まで不落不調が起こったような事は無いのか。 ・安全管理やリスクを伴うものに対しては、単価計算が難しいものとなっているのか。 ・施工済み区間の入札状況も同様であったのか。 	<p>地滑り工事全体で見ると、各年度6件程度の工事を発注しているが、各工事とも2～3者ほどの応札しかない状況である。 集水井の工事は比較的参加が多いが、手間のかかる表面排水路工事の場合、参加者が少ない。</p> <p>当該箇所は熊等が出るような所では無いが、地滑り性の箇所を施工しなくてはならないとい点で安全管理を重視する必要がある工事である。</p> <p>当該工事は、2回不調になった案件である。</p> <p>当該箇所は、当初はプレキャスト方式ではなく、通常断面の構造で行う予定としていたが、不調を踏まえて業界との意見交換を行った結果、現地での施工手間が多大であるとの意見があり、意見交換の中でプレキャスト方式の解決策を見いだした。工事内容や積算自体が難しいものではない。</p> <p>当初の区間は平成23年頃の工事で、当時は不調は生じていなかった。</p>
---	---

(2)簡易公募型競争入札(建設コンサルタント業務等)

意見・質問	回答
<p>平成27－28年度 窪川佐賀道路(荷稻地区)用地調査等業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指名業者の評価の項目と配点について、どうやって決めているのか。 ・不誠実な行為での減点について、失格でも良いのではと思ったが、これは過去何年のものが対象か。 ・評価項目で差がつくのは表彰関係のようだが、あまり差がつかないのではないのか。 	<p>用地関係の業務については、四国全体で統一された形で基準を設けている。</p> <p>文書注意の日から1ヶ月がマイナス5点評価となり、口頭注意の日から1ヶ月がマイナス3点評価となっている。</p> <p>表彰も影響するが、配置予定主任担当者の業務成績でも差がついている。10者選んだ後は価格競争となる。</p>

(3)簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)

意見・質問	回 答
<p>平成27-28年度 新日下川放水路詳細設計業務</p> <p>・参加表明者の評価は、技術評価にはかかってこないのか。</p> <p>・特定テーマを2項目にした理由は。</p>	<p>参加表明時の配置予定技術者については、技術評価時に改めて評価を行っている。</p> <p>業務に高度性があるものについては、技術力を問うため、複数の評価項目としている。</p>

(4)一般競争入札(役務・物品)

意見・質問	回 答
<p>H28-31 国営讃岐まんのう公園運営維持管理業務</p> <p>・当共同体が継続して受注していると思われるが、共同体にはどのような事業者が入っているか。</p> <p>・他に参加することが可能な団体はあるか。</p> <p>・当該入札は、同様な条件で続いているのか。</p> <p>・収益事業の方は独立採算との事だが、どのような状況か。</p> <p>・利用者満足度について、実際モニタリングされているか。</p> <p>・自主事業の提案について、どのようなものを自主事業として行っているか。</p> <p>・自主事業に関する経費は事業者の負担なのか。</p>	<p>(一財)公園財団、香川県造園事業協同組合、(株)グリーンパークまんのうの3者の共同企業体である。</p> <p>四国内で入札参加が可能と思われる者は、約40者程度想定される。</p> <p>従来は随意契約であったが、平成19年度より企画競争に移行し、平成25年度以降については、いわゆる市場化テストの中で一般競争入札の総合評価方式に見直しされた。 今回の発注にあたっては、新規参入を促進する観点から、企業及び配置予定者の業務実績に関し、過去10年の要件を、15年に緩和するなど、更なる見直しを行っているところである。</p> <p>収益は赤字にはなっていない。 公園の性格上、天候にも左右される。</p> <p>入園者へのアンケート調査を整備局(香川河川国道事務所公園課)で行っている。</p> <p>具体的には、四国の中のグルメフェスタをまんのう公園で展開するものや、来園者がピクニック的なイベントを楽しめるような提案があった。</p> <p>自主事業については、共同体の負担で行っている。</p>

<p>・収益事業の中の売店とかの収益は事業者の収益になった上で、契約金額を支払って管理してもらう形になっているのか。</p> <p>・4年の契約にしている理由は。今後、PPPのような形式を取る等の可能性はあるのか。</p> <p>・この委員会で議論する話ではないが、競争性にごたわるだけではなく、パフォーマンスが大事だと思っている。きちんとパフォーマンスが管理でき、パフォーマンスが公的に説明でき、良い計画になっているという事が重要だと思っている。どういうものをきちんとやっていただくかという事について明確にして、達成していただく事を確認しながらやっていくという事だと思う。3年後は検討いただきたい。</p>	<p>事業者の収益については、収益施設の使用料を国に支払い、残りの収益事業の収益は事業者の利益となる。</p> <p>国営公園については、昨年度、全国で同様の契約を行っている。4年後の発注に向けて、更なる新規参入の工夫や競争性の確保等それぞれの状況を見ながら検討していくこととなる。</p> <p>頂いたご意見も踏まえ検討したい。</p>
--	---

2. 談合情報等の対応状況について

意見・質問	回 答
特になし	

3. 再度入札における一位不動状況(「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況)、低入札の発生状況について

意見・質問	回 答
特になし	

4. 指名停止状況について

意見・質問	回 答
特になし	

5. 全体について及びまとめ

<p>24者もの参加者がいる競争と、1者入札など、多様な案件がある。工種の問題、現場の条件の問題、多様なものを工夫してやっていただいております。条件については色々な形のもものが結果として生じていると理解している。それぞれについて、適切な処理がされていると判断している。</p> <p>特に1者入札の案件については、結果としては1者入札であったが、不落であったものを、現場のコミュニケーションをされて、工法を改善してやられた。現場を知り得ている方々との事前のコミュニケーションが重要になってきていると思う。こういう時代なので、競争、競争ではなく、きちっとコミュニケーションを取って、協調していくという形をしていただき、きちっとしたパフォーマンスをあげていくということが大切かなと感じました。</p> <p>まんのう公園についても、実際に現場をかかえておられる方とのコミュニケーションを進めていただいて、改善をすれば、入場者数も増え、収益も増えて、価値が上がっているというように思え、それだけの価値のあるものを提供しているという方向で、以後説明いただければと思います。今後とも工夫していただいて良い入札契約を進めていただければと思います。</p>
